

# 目指せ！科捜研職員！

## 青森県警・警察科学(心理)募集

### 心理学を仕事で活かしたい人求む！

#### ポリグラフ検査 (一番メインの仕事です)



事件の被疑者や参考人に対して、事件に関わった者でなければわからないはずの事項について、記憶がないかどうか、生理反応をもとに判断する鑑定です。(学術的には、「隠匿情報検査(Concealed Information Test)」として知られています)

#### 犯罪者プロファイリング (捜査支援分析課の業務を、 兼務員として担当しています)

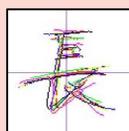


凶悪事件や連続事件について、事件情報から犯人像推定、拠点推定、犯行予測等を行い、捜査に役立つ情報を提供する捜査支援です。

#### 文書鑑定

(心理学分野の業務ではありませんが、科捜研文書科を兼務して、文書鑑定も担当してもらいます)

筆跡鑑定、印影鑑定、偽造文書鑑定等、文書に関する鑑定を行います。



#### 聴取・取調べ・司法面接の教養

現場で聴取や取調べを行う警察官に対して、心理学的知見に基づく適切な聴取方法を教養しています。



科捜研職員は警察官ではなく、警察行政職員(研究職)として採用された職員です。ドラマや映画とは違い、原則として、事件現場で証拠資料を採取したり、聞き込みや取調べなどの捜査そのものに従事することはありません。地味ですが、事件解決を下支えするやりがいのある仕事です。

# Q&A

## ポリグラフ検査を知らなくても大丈夫？

採用されると、科学警察研究所における3ヶ月間の研修で、業務に必要な知識や技術を学ぶことができますので、心理学の基礎知識があれば、ポリグラフ検査について全く知識がない状態でも大丈夫です(私もそうでした)。また、採用されてすぐの1ヶ月間(令和7年4月)は、警察学校に入校して警察職員として必要な知識を学びます。

## 研究はできるの？

科捜研の業務には、鑑定技術向上のための「研究」も含まれていますので、日常勤務のなかで、自らテーマを設定して研究を行うことができます。全国的に、勤務しながら大学院に所属し、修士号や博士号を取得している職員もいます。

## 勤務形態は？

科捜研は、青森市新町の県庁隣り、青森県警察本部内にあります。原則として異動はなく、退職まで科捜研での勤務となります。勤務時間は平日8:30~17:15(昼休み:12:00~13:00)で、休日は土日祝日です。

事件対応のため休日や早朝夜間の勤務となる場合もありますが、いま県警では「ワークライフバランスの向上」に取り組んでおり、メリハリをつけた勤務が可能な環境となっています。また、育児や介護等家庭の都合に合わせて、時差出勤制度、時短勤務制度、特別休暇制度なども充実しています。

## 採用試験はいつどこであるの？

一次試験は令和6年6月頃に、青森市と東京都で実施されます。5月7日に試験内容が告示されますので、青森県職員採用HPをチェックしてください！試験区分は「大学卒業程度」の「警察科学(心理)」として募集されます。

青森県職員採用

検索

## もっと詳しい話が聞きたい！

電話で採用担当者から説明を聞いたり、科捜研心理科の職員と直接話をするができます。

フリーダイヤル 0120-337-314 まで  
お気軽にお電話ください！(平日9:00~17:15)



たくさんのご応募をお待ちしています！